

リーディングDXスクール事業【実践事例】

千代田区立九段中等教育学校（東京都）【指定校】

デジタルの力でリアルな学びを支える「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実へ向けた取り組み

【個別最適な学び】

☑**学習の手引き**を活用し、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を単元の冒頭に明示。
→データ上にアップし、生徒がいつでもどこでも確認できるようにする。

単元名			
教材名			
目標			
学んだ後の姿			
パフォーマンス課題			
学習内容 ★は全コース共通 ○は任意	リソース（資源）	評価材料	
提出物			
確認テスト（フォームズ）			
発展学習			

☑**学習の計画表**を活用し、生徒の学習状況を確認。確認テストで生徒の理解度も即時に把握。
→データ上で一括管理し、個々の生徒の学習状況を把握。

学習計画表					
単元・教材名					
自走型学習の目的					
コース		①群走型 ②独走型 ③伴走型			
回	日付	コース	計画	実施	メモ
1					
2					
3					

【協働的な学び】

☑パフォーマンス課題により個での思考や、協働の必要性(創出・練磨)を生み出し、「本質的な理解」に迫る。

・理科 例

→クラスで「細胞という小さくて壮大な社会」シアターを作成し、上映会を開催しよう。
→代謝における「同化」の代表例である光合成、「異化」の代表例である呼吸について、その過程を漫画化し、次世代の人が読んでわかるように表現しよう。

・国語科 例

→登場人物や場面の設定、論理展開を意識して小説を創作しよう。

・社会科 例

→単元の内容を踏まえて報道番組を作成しよう。



主体的に学びを進める生徒の増加

リーディングDXスクール事業【実践事例】

千代田区立九段中等教育学校（東京都）【指定校】

デジタルの力でリアルな学びを支える「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実へ向けた取り組み

単元レベルでの実装（4年 生物基礎）

【基盤】 「いつでも見られる・見返せる」
学習内容のテキスト・資料集のアップロード
動画サイトの共有
問題（アウトプット用）のアップロード

デジタルの基盤



【進行過程 1】
学習の手引きを用いて、
個人で学びを進める。協働で学びあう

ゆるやかに個で進める学び



オンライン上での振り返りで
生徒の学びを教員も把握＋生徒へ共有

学びを見つめる・他者共有

【進行過程 2】
パフォーマンス課題を実施するにあたって
単元で学んだことをアウトプット
および新たな情報の収集
クラウド上で協働作業を行い、成果物を作成

個での学びを協働で深めていく

【パフォーマンス課題】人体展を開催しよう

- ・ デジタルでカードゲームを作成→印刷して実施
- ・ プレゼンテーションソフトでアニメーション作成
- ・ デジタルで絵本を作成→印刷して読み聞かせ
- ・ 段ボールで、立体模型の作成 など